

導水路はいらない！ 愛知の会

<http://www.dousuiro-aichi.org/>

事務局：467-0853 名古屋市瑞穂区内浜町1-15 加藤 伸久 方
☎/fax (052) 811-8069 E-mail: ra28745@wd6.so-net.ne.jp

2024名古屋市長選挙

導水路はいらない！愛知の会では、11月24日に投開票が行われる名古屋市長選挙の立候補者である広沢一郎氏、大塚耕平氏、尾形慶子氏の3氏事務所を11月7日午後に順次訪問し、面談で公開質問状をお渡ししました。

大塚氏、尾形氏からは11月13日までに回答が寄せられました。質問状と回答結果をご覧ください。なお、11月14日現在、広沢氏からの回答は得られていません。

2024年11月15日公開

木曾川水系連絡導水路事業に関する公開質問状 「名古屋市長選挙」候補者の〈回答結果〉

アンケート

1. 事業の必要性について

- ① 市として今以上の利水は必要がないので、撤退ルールの実行使も含めて中止を求める。

尾形候補

- ② 上下水道局に説明を求め、議会とも協議して判断する。

大塚候補

- ③ 市に必要な事業なので「継続」を支持し推進する。

2. 事業費について

- ① 2.55 倍の増額は市財政にも影響するので、事業の中止を求める。

尾形候補

- ② 事業費増額につき事業者に必要な説明を求めた上で再検討する。

大塚候補

- ③ やむを得ない増額であるので容認し、支出方法を工面する。

3. 名古屋市が藤前干潟を守り、COP10 を開催したときには、「環境都市」を目指すと声高に叫ばれましたが、その観点から市政運営の基本姿勢を伺います。

- ① 地球温暖化問題も視野に、自然破壊をもたらす開発事業を見直して「環境都市」を目指したい。

尾形候補

- ② 経済と環境との両立が必要であり、両者の均衡の中で「環境都市」を目指す。

大塚候補

- ② 経済の活性化のためには、「環境都市」に拘らずに町づくりをする。

4. 本事業についてご見解を有権者にご自由にお示しください。 (※回答は50音順)

大塚候補

<経緯と事実関係について、上下水道局等から十分なヒアリングを行った後に、合理的かつ適切な判断を行いたい。>

尾形候補

<木曾川水系連絡導水路事業については、愛知県、岐阜県、三重県はじめ関係団体にも働きかけ、国に中止を求めています。>

2024年11月 7日

名古屋市長選挙立候補者 各位

導水路はいらない！愛知の会 <http://www.dousuiro-aichi.org/>
(共同代表 加藤 伸久・小林 収)

木曽川水系連絡導水路事業に関する 公開質問状へのご回答のお願い

冠省 この度は、名古屋市民の生活の安定・向上のため、市長選へ立候補されたことに対し敬意を表します。

木曽川水系連絡導水路は、事業の必要性をめぐって2010年から14年にもわたって検証作業が行われてきましたが、今年に入って急テンポで手続きが進められ、8月27日には国交省が事業の「継続」決定を発表しました。その決定は、事業費の大幅な増額（2.55倍の2,270億円）と工法の大変更（ナトム工法からシールド工法へ）を伴うものでしたが、国民への説明はされないままです。

本事業と名古屋市政との関係において、看過できないのは、名古屋市議会の議論を通じて水道の水余り状態が常識になっているにも拘わらず、市上下水道局が事業への利水参画者として事業の継続を是認したことであり、しかも上下水道局が水道料金値上げの準備をしていることです。

よって、貴殿が市長に就任されたならば、この事業にいかなる態度を取られるのかという観点から、次ページ3項目の質問をいたしますので、ご回答をお願いします。

※お願いとお知らせ

(1) ご回答は、11月13日までに、次の連絡先をお願いします。

加藤 伸久 あて メール ra28745@wd6.so-net.ne.jp

F A X (052) 811-8069

(2) いただいたご回答は、当会ホームページなどで広く市民に伝えるとともに、マスコミ各社にも発表いたします。

草々